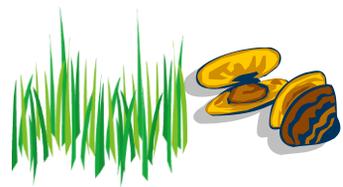


# 深江の浜を甦らせよう！

## 深江ブループロジェクト

・都道府県・市町村名：長崎県 南島原市  
 ・組織名：深江ブループロジェクト  
 ・発足年：平成21年8月1日  
 ・構成員：漁業者49名、漁業関係者等438名  
 合計487名（平成29年6月現在）

南島原市は、長崎県の南部、島原半島の南東部の雲仙普賢岳のふもとに位置し、魚介類豊富な有明海の島原湾がある風光明媚な場所です。しかし、浜はアマモ場が減少し、アオサが大量繁殖して干潟の機能が低下しており、平成21年から保全活動を行っています。その甲斐があって、昨年からアサリが復活する兆しが見えてきました。平成29年度からは、より活動の効率化と地元の方々にも浜の現状を伝えるため、ICT技術を活用して横展開を図り、深江の浜を甦らせる仲間を増やしています。



紙ねんど法によるアマモ播種  
干潟での主な保全活動

**モニタリング**

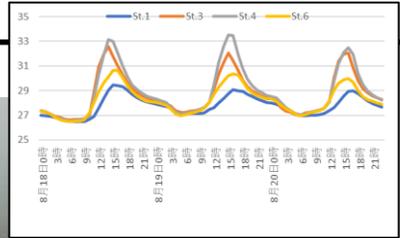
ICT機器を活用することで、メンバーにモニタリング結果をわかりやすく伝えています。



干潟全域の変化を把握するドローンによる空撮



タイムラプスカメラでクロダイのアサリの食害を確認しました



メモリ式水温計による泥温の連続観測。8月は高温阻害が起きやすい状態が続いていたが、場所による泥温差を確認しました。

**連絡体制**

LINE

活動メンバーの多くがスマホを所有していることから、「ライン」のグループトーク機能を活用して、情報共有・コミュニケーションを取っています。グループには、日程調整をする役員用とメンバー連絡用に分かれています。役員用は県や専門家とも情報が共有できるようになっているので、位置情報や写真を共有し、迅速にアドバイスを受けることができます。

**SNS**

Facebook

世界最大のSNSの「Facebook」を利用して、私たちの活動のファンを増やすため「Facebookページ」を立ち上げて、クチコミによる広がりを目指しています。これまでに20回投稿して1万4千人の方々が見てくれました。フォロワーは148名です。

深江ブループロジェクトのFacebookページ  
<https://www.facebook.com/FukaeBlueProject/>

活動の多い夏から秋は閲覧者が急増します

**写真管理**

Googleフォト

Google フォトは、無料かつ容量無制限で写真・動画をバックアップできるGoogleのクラウドストレージサービスです。スマホで現場の作業を撮影すると自動的にクラウドに保存され、写真を専門家と共有できたり、煩雑な写真管理を簡単に行うことができます。ただし、デジカメは対応していないのが欠点です。

**メディア報道**

ふるさとの「海のゆりかご」守りたい  
深江小児童と漁業者ら アマモの復旧取組

2021年6月14日(水) 長崎新聞

2021年7月21日(水) 長崎新聞

アマモ場再生に向けて 漁業者も心を砕く

保全活動を教育と啓発の場とする事で、地元の新聞社（島原新聞、長崎新聞）やケーブルテレビ（かぼちゃテレビ、ひまわりテレビ）に取り上げてもらいながら横展開を図っています。